

発達障害の理解

 2026年10月6日(火)15:00～16:30

 森林総研2階大会議室 オンライン併用、録画あり

発達障害は精神発達上の継続的な遅れや偏りを特徴とした疾患であり、先天的要因が大きい一方で状態の悪化や事例化においては環境的要因が大きく作用します。発達障害の代表的疾患として、「興味の向き方が人も物も同じ」という特徴を有する自閉スペクトラム症と「強い刺激に反応しすぎる」という特徴を有する注意欠如・多動症があります。講演では自閉スペクトラム症と注意欠如・多動症を中心に発達障害の特徴や対応について説明します。



講師：成重竜一郎先生

日本医科大学付属病院精神神経科講師

2001年日本医科大学医学部卒。東京都立梅ヶ丘病院、日本医科大学付属病院、社会医療法人公徳会若宮病院等で勤務。2024年4月より日本医科大学付属病院精神神経科病院講師。

医学博士、精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医・指導医、子どものこころ専門医・指導医、一般社団法人日本児童青年精神医学会認定医。

著書

- 『不登校に陥る子どもたち：「思春期のつまずき」から抜け出すためのプロセス』（合同出版）
- 『わたし中学生から統合失調症やっています。：水色ともちゃんのつれづれ日記』（合同出版）（解説）

等

お問い合わせ先

職員課課長補佐：029-829-8170

ダイバーシティ推進室：029-829-8360